秋田赤十字病院広報誌

愛の窓

題字　宮下正弘

ご自由に
お持ちください
No.14
2014.1

病院機能評価 Ver.6.0 認定病院
人間ドック健診施設機能評価認定病院
臨床研修評価認定病院

日本赤十字社 秋田赤十字病院
Japanese Red Cross Society

糖尿病サポート・透析予防診療チームの活動には、患者さんに最新の情報を提供し、よりよい治療を受けてもらうための定期的なカンファレンスが欠かせない

TOPICS

- 糖尿病診療と生活指導のエキスパート
  糖尿病サポート・透析予防診療チーム

CONTENTS

- シリーズ漢方薬①　～知っておきたい薬の知識～
- ハタハタ味噌田楽　～簡単おススメレシピ～
- 活動報告

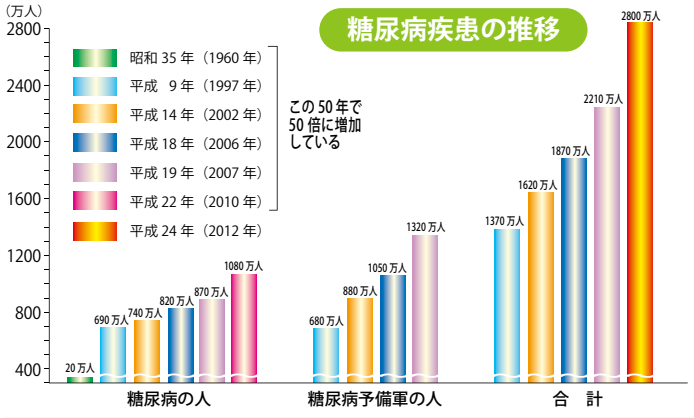
糖尿病診療と生活指導のエキスパート

糖尿病サポート・透析予防診療チーム
—Diabetes Mellitus Support Team—

医師が中心だった医療が変わりつつあります。近年、複数の医療専門職が連携し合って治療やケアを行う「チーム医療」が推奨されており、当院でも様々なチームが構成されています。今回はそのひとつである「糖尿病サポート・透析予防診療チーム　Diabetes Mellitus Support Team（DMST）」をご紹介します。

糖尿病患者が爆発的に増加

国民の 4 人に 1 人が糖尿病かその予備軍、そしてその 4 割は未治療で、患者は増加の一途をたどっています（厚生労働省「2011 年国民健康・栄養調査報告」）。国の医療費も年々増加しており、糖尿病は国を挙げて重点的に取り組むべき疾患の一つです。また、糖尿病患者の約 3 分の 1 が糖尿病腎症を発症しているという報告もあり、その適切な診療と治療のための対策が急がれています。



HbA1c6.1% 以上の人：糖尿病、5.6% 以上～ 6.1% 未満：糖尿病予備軍、5.6% 未満の人：正常

（厚生労働省の分類）

専門性を求めてチーム医療が始動

秋田県は糖尿病患者へ療養指導を行う専門職である日本糖尿病療養指導士（CDEJ：Certified Diabetes Educator of Japan）→メモ の人数が東北エリアで最少。地域医療連携も進んでいませんし、専門の病院や診療所も殆どありません。そこで当院では、専門的な医療の提供と患者さんの支援のため、平成 24 年 4 月に DMST を始動させました。

DMST は通常の外来に加え、合併症予防のための指導や糖尿病教室などの様々な内容を毎月の会議で検討しています。メンバーは当院の後藤尚代謝内科部長を中心に、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、臨床心理士の合計 22 名で構成されています。そのうち CDEJ の資格を持ったスタッフは 14 名と、正に糖尿病のエキスパートが集まった専門チームです。

楽しみながら学んで生活習慣を改善するプログラムを提案

糖尿病透析予防指導は、医師の診察と看護師・管理栄養士の指導を同じ日に実施。患者さんのお話をじっくり聴ける、話しやすい雰囲気を作ることを心掛けています。

また、平日は糖尿病教室を毎日開催。オリジナルのテキストで自己管理行動が身につくプログラムを実施しており、年に数回は夜間も開催しています。「ノンアルコールビールで血糖値は上るのか」

カンファレンスに集まった DMST メンバー
前列左側がリーダーの後藤代謝内科部長と高橋外来看護師長

ボードゲームを通して自分の食生活や生活習慣を見直し、自己管理行動の知識を深める参加者（糖尿病教室）

定期的なカンファレンスで連携を深めるメンバー

「柿の謎にせまる」「豪華バイキング～栄養指導の夕べ」など、患者さんに興味を持ってもらえるようなテーマで楽しみながら学べる工夫が凝らされています。

チーム医療の要はスタッフ同士の連携

DMST メンバーの高橋郁子外来看護師長は、「それぞれにスキルアップを図り、お互いに連携しながら患者さんに関わっていきたい」と話します。チーム医療ではスタッフ同士の良好なコミュニケーションのもと、同じ目標に向かってそれぞれの役割を果たし、患者さんを支援することが何より大切です。今後も病院の内外に活動を発信し、患者さんにとってよりよいチーム医療の提供を目指していきます。

糖尿病教室は患者さんやそのご家族など、どなたでも参加できます。ご不明な点は外来看護師または６Ａ病棟看護師にお尋ねください。

メモ　日本糖尿病療養指導士（ＣＤＥＪ）

糖尿病患者へ糖尿病の療養指導を行う専門職で、日本糖尿病療養指導士認定機構の認定資格です。試験に合格した看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士に与えられ、５年毎の更新制です。更新には一定の期間の実務経験、症例経験、講習や研修の習得が必要となります。

ＣＤＥＪは糖尿病治療に最も大切な自己管理の指導を行う医療スタッフで、この認定を受けることは糖尿病の臨床における生活指導のエキスパートであることを意味します。外来の糖尿病患者指導では、看護外来、フットケア外来、糖尿病透析予防指導を担当し、その専門性を発揮して指導料の算定にも貢献しています。

知っておきたい薬の知識

シリーズ漢方薬①

「かぜの治療薬」

漢方薬によるかぜの治療は、体を温めることで免疫力を高めて治癒を早めることを目的としています。その人の病気に対する抵抗力の程度やひきはじめ、治りかけなどの時期によって使用する漢方薬も変わります。今回はかぜの治療薬として用いられる主な漢方薬について紹介します。

カッコントウ 葛根湯
かぜの初期症状である頭痛・悪寒・発熱に加えて首の後ろがこり、汗が出ない場合に使用します。

ケイシトウ 桂枝湯
胃腸の弱った人や体力が衰えた人に使用します。
頭痛・悪寒・発熱に加えて発汗傾向がある場合に使用します。

マオウトウ 麻黄湯
頭痛・悪寒・発熱に加えて関節が痛む場合に使用します。
インフルエンザの初期にも使用します。

マオウブシサイシントウ 麻黄附子細辛湯
老人などで、顔色が悪く背中全体が異様に寒く、咳も出るという場合に使用します。

簡単おススメレシピ

秋田名物ハタハタを使った

ハタハタ味噌田楽

■材料（1人分）

●ハタハタ	中2尾	●しいたけ	中1枚
●味噌	小さじ1	●卵	3g
●砂糖	小さじ1	●小麦粉	5g
●酒	少々	●水	適量
●みりん	少々	●はじかみ	1本
●白ゴマ	少々	（芽生姜の酢漬け）	

■作り方

①味噌、砂糖、酒、みりんを合わせて、火にかけて練る。
②しいたけは洗って、じくを切り落とす。
③ハタハタは、素焼きにする。
　火が通った頃、①を塗ってもう1度さっと焼く。
④小麦粉、卵、水を合わせて天ぷらの衣を作り、②を揚げる。
⑤ハタハタを盛り付けて白ゴマをかける。
　しいたけの天ぷらとはじかみを添える。

One Point Advice

◆ハタハタは、冬にはどこの家庭でも鍋料理、焼き魚、煮魚、ハタハタ寿司として、よく食べられている食材です。当院では、ハタハタが獲れ始めたころに焼き魚や味噌田楽として患者さんに提供して喜ばれています。

活動報告

市民公開講座
『がん治療の最前線6』

地域の皆さまにがん治療の情報を提供し、当院の取り組みを通じて正しい知識を普及させることを目的とした市民公開講座を開催しました。
今回は早期発見が困難で進行がんに対する有効な治療法がないとされているすい臓がんや、口やのどなどにできる頭頸部がんの治療方法、また、肺がんの治療方法と患者さんが手術後に気を付けるべきことなどについて、当院の医師がわかりやすく紹介しました。

2013.11.9　秋田県総合保健センター大会議室

お知らせ

かかりつけ医からの紹介状をお持ちください

当院では、診療所（かかりつけ医）との医療機関相互の機能分担・業務連携を通じて、患者様への医療の向上や、より適切な地域医療の確保に努めています。
紹介状があると優先的に診察を受けることができます。電話で予約も可能ですので、地域医療連携室へご連絡ください。
なお、紹介状をお持ちでない方は、診療費の他に特定療養費*2,100円をいただいておりますのでご了承ください。

＊特定療養費：国が病院と診療所の機能分担の推進を図るために定めた制度です。

予約先：地域医療連携室
018-829-5233（直通）
平日8：30～17：00

■病院からのお知らせ

外来受付時間	午前8時から午前11時30分まで（科ごとに若干異なる場合があります。） なお、外来診療担当一覧は、1階広報ラックコーナーにございます。
休　診　日	毎週土・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）創立記念日（7/1）
入院のご面会時間	正午（12：00）から午後8時まで

■秋田赤十字病院の理念

私たちは、人道・博愛の精神に基づき、患者の皆様が
「来て安心」・「受けて満足」・「確かな信頼」を得られる心の通った病院を目指します。

身体が不自由な方のための**専用駐車場**に一般の駐車はご遠慮ください。

敷地内全面禁煙にご協力ください。

広報誌　愛の窓
平成26年1月15日発行
発行人　木　村　　滋

〒010－1495　秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢222－1
TEL.018-829-5000（代表）　FAX.018-829-5255
http://www.akita-med.jrc.or.jp

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.　日本赤十字社 Japanese Red Cross Society